

考古-2 ^{うしろむた}後牟田遺跡の土層

この地層は、県内で一番古い遺跡のひとつである、川南町^{かわみなみ}の後牟田遺跡から、実際に剥ぎ取ってきたものです。地層からは、旧石器時代～現代までの人々の生活の痕跡など、いろいろなことがわかります。例えば、下の地層は上の地層より古い地層であるという原則があり、下へ行くほど時代が古くなることがわかります。また、良好に堆積している火山灰は、噴火した年代がおおかた分かっていますので、年代を知る資料となります。特に、始良^{あいら}Tn火山灰(AT)や、鬼界^{きかい}アカホヤ火山灰(K/Ah)は、ほぼ日本列島全域に堆積していることから、遠く離れた遺跡どうし、同じ火山灰が、検出されることで年代を決定するうえで重要なカギ層といわれています。

